

足利市地域福祉会館だより



令和4年6月号 足利市山下町1312番地1 ☎62-7690

令和4年度会館事業の主な予定

※画像は昨年度のものです。

★ ジュニア卓球教室

6月1日～29日（毎週水曜日連続5回

※ 受付は終了しました。



★ こども人権講座（8月）

● 人権セミナー（9月）

● ウォーキング教室（10月）

● 健康・福祉講座（11月）

● 人権講演会（1月）



※会館の都合や新型コロナウイルス感染拡大状況等で事業が変更・中止になる場合があります。



山前絵手紙愛好会さんの作品
梅雨にちなんだ素晴らしい
絵手紙の作品をいただきました。
次回号もお楽しみに！



お話し会のお知らせ

わたらせ語りの会の皆さんによる日本の民話等の「語り」や、大型絵本の読み聞かせを行う「お話し会」を会館会議室で月1回開催しています。小学1年生から3年生が対象ですが、一般の参加も可能です。ぜひ、お越しください。

☆開催日時

毎月原則第2水曜日 午後3時30分～4時頃

☆6月以降の開催日程（8月と2月はお休み）

6月8日、7月13日、9月14日、10月12日

11月9日、12月14日、1月18日、3月8日

※来館前に検温し、風邪症状等体調不良な場合は、参加をご遠慮ください。

※マスク着用と手指のアルコール消毒へのご協力をお願いします。

水平社宣言を知っていますか？

大正11（1922）年3月3日、京都市の岡崎公会堂に全国から約700人もの被差別部落の人々が参加し、人間としての平等を願い、自分たちの力で差別をなくす運動を進める「全国水平社」を創立しました。その創立大会で採択された「水平社宣言」は、多くの人々の心をとらえ、「日本最初の人権宣言」とも言われています。この宣言から今年で100年を経過した現在もなお、部落差別（同和問題）をはじめとする様々な人権問題が存在しています。この100年を期に、次世代を担う子どもたちのためにも、全ての人の人権が尊重される社会をつくるためにはどうすればいいか、考えてみませんか？

《人権と福祉トピックス》 アイヌの人々の人権問題についてその3

日本の先住民族であるアイヌ民族の文化の復興と発信の拠点として「ウポポイ」が令和2年7月に北海道白老郡白老町にオープンしました。「ウポポイ」は、「民族共生象徴空間」の愛称で、アイヌ語で「(大勢で) 歌うこと」を意味します。主要な施設として、国立アイヌ民族博物館、国立民族共生公園、慰霊施設があります。

アイヌ民族は、北海道だけで2007年調査で2万3千人、2017年調査で1万3千人と年々減少しています。今なお就職や結婚等で根強く存在する偏見や差別のため、アイヌと名乗ることを思いとどまらせているのではないかとされています。私たちは、アイヌの人々に対する理解と認識を深めていくことが求められます。(終わり)

□人権関連貸出図書のご紹介■



○あなたのルーツを教えてください

国内外で活躍するフォトジャーナリストが異なる「ルーツ」(難民、在日外国人等)を持つ方との対話を通して、「共に生きること」を見つめた一冊です。

(発行元: 左右社 著者: 安田 菜津紀 出版年: 2022)

○虹の向こうには 為さん・大作さんの言葉 ハンセン病取材二十年の記録

テレビ局でハンセン病問題に関するドキュメンタリー制作に長年携わってきた方の記録です。

(発行元: 皓星社 著者: 小川 秀幸 出版年: 2021)

..... 文芸コーナー(足利俳句会さんの作品より)



春深む日々を粧ふこともなく	(房子)
瀾り口入ればなごりの山桜	(トリ子)
一輪は蕾のままで二輪草	(陽子)
ソラマメや君の装い天の愛	(ゆみ)
ダム湖への道は三曲り花きぶし	(恵美子)
手鏡へぼうたん写し病む母に	(くら)
五月晴れ句集出版祝い膳	(ヒロ子)
花過ぎの雨に雀のこゑ聴きて	(房子)
水清く心洗われる	(ゆみ)
風とほす神楽の衣装花の春	(房子)
甲羅干す亀に桜のふぶきけり	(房子)
装甲車春泥のまち蹂躞す	(弘一)

..... ★フロッジェクター購入しました★

会館で開催する各種講座、人権講演会や会議研修等で使用します。会館利用時に使用を希望される場合は、使用方法の説明等がありますので、事前に事務室までお声がけください。



当館では生活上の各種相談を行っています。

生活相談(経済問題)、職業相談、福祉相談
◆相談受付時間
平日 午前8時30分～午後5時

編集後記☺

新年度となりましたが、3年ぶりに外出制限のないゴールデンウィークを過ごすことができました。しかし、マスクありの生活はまだ当面続きそうです。